

事務事業名	チャイルドシート装着促進事業	整理番号	53106-010
所 管	子育て支援課 母子児童スタッフ		

**事務事業の位置付け**

期間	平成 17年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	御殿場市チャイルドシート購入補助金交付要綱
基本計画における位置付け	基本政策	5-3 少子化への対応	関連政策
	政 策	5-3-1 少子化への対応	

**事務事業の内容**

目的 (何のために)	子育てを支援するため。
対象 (誰・何を)	チャイルドシートを購入した乳幼児の保護者
手段 (どのようなやり方で)	チャイルドシート購入者に対して補助金を交付する。
成果 (どのような状態にしたいか)	子育て家庭の経済的負担が軽減される。
事務事業の背景・住民の意向	少子化の進行に伴い、子育て支援を推進するためチャイルドシート購入補助金を交付している。保護者から購入に対する補助の要望の声が多数あり、子育て支援として住民の期待に応えるべく実施している。
見直し改善の経過	

**事務事業の実績・投入コスト**

年度	事務事業実績
平成16年度	
平成17年度	補助金交付件数、339件
平成18年度	補助金交付件数、393件

投入コスト(千円)

年度	直接経費(千円)	人件費(千円)
16年度	0	0
17年度	3,000	1,500
18年度	3,500	1,500

**評価指標**

1件当り補助金額(円)

年度	補助金額(円)
H16	0
H17	9,000
H18	9,000
H0目標	9,000

1件当り購入金額(円)

年度	購入金額(円)
H16	0
H17	28,000
H18	28,000
H0目標	28,000

補助1件当りコスト(円)

年度	補助1件当りコスト(円)
H16	0
H17	12,000
H18	12,000
H0目標	12,000

**事務事業の評価**

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	少子化対策として今後も継続して補助していく。	継続
	有効性		
	効率性		
一次評価	A		継続
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	B	短期間の使用のため、不要となった時の実態を調査し、その活用策を検討されたい。	継続

**改革プラン**

平成19年度からの対応	なし
平成20年度以降の対応	なし
改革により予想される成果	なし